

びとう和広後援会ニュース

2006.10.10

第 12 号

発行責任者
長谷川満敏

安心と元気の三田^{まち}めざして

のじぎく兵庫国体開会式 市内幼稚園のはばダンス

三田城山球場にて:10/6

晩秋の候、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃より皆様の力強いご支援・ご協力を頂いておりますことに改めて御礼申し上げます。

国政では「改革」を叫び続けた小泉内閣から「美しい国創り」の安倍内閣となりました。小泉政権の5年5ヶ月は、結局弱者いじめで格差の拡大の一途でしたが、新内閣でも方針を引継ぐとのこと。民主党は、決して改革推進に反対するものではありませんが、格差拡大や癒着構造には断固反対です。

第61回国体「のじぎく兵庫国体」が9月30日より開会され、三田市でもハンドボール(成年女子)と軟式野球(成年男子)が開催され、軟式野球は兵庫県が優勝しました。城山と駒が谷の2会場は選手の活躍にふさわしい良い施設となりました。

三田市では9月議会も終わり、職員法令順守条例も可決され、推進委員会設置と、業務の見直しを進める基盤が出来ました。また、キッピーモールの運用疑惑で設置された「調査特別委員会(百条委員会)」の最終報告もあり、市から第3セクターへの支出の有り方を再度確認した完了報告でした。

7月28日サマーフェスティバルでのびとう後援会協賛や、8月4日びとう後援会主催ビアパーティでは、多くの方にご参加・ご協力頂き、本当にありがとうございました。これからも10月22日ウッディ地区・10月29日フラワー地区のミニ集会開催や、11月29日ボーリング大会など、開催して参ります。ぜひ多くの方にご参加頂き、皆様の身近な問題やいろいろなご意見・ご要望をお聞かせ下さい。

これからも、市政をしっかりとチェックし、長期的視野の中、今しなければならぬ事業を厳選するとともに、市民サービスの一層の向上、安心安全・活気活力の元気なまちづくりに向け、精一杯頑張ってお参ります。今後とも、皆様の力強いご支援を、何卒よろしくお願いいたします。



かずひろ
三田市議会議員 びとう 和広

議会活動

■ 9月議会（第286回定例会）8/28～9/15

◎ 概要

今回は、法令順守条例と17年度決算について市財政見込み報告と水道・市民病院の決算報告、そして、百条委員会最終報告が中心。

民主市民連合の、一般質問の要旨は、

(問) 危機管理体制（7月の大雨による避難体制と災害時の要支援者対策）をどのように進めるのか？

<答>風水害対応マニュアルによる運用だが、7月の大雨は予想困難で「待機配備」を行なった。今後、マニュアルを基本としつつ、最悪の事態を予測した柔軟な対応を図る。7月には「災害時要支援者対策検討委員会」を設置、対象区域の台帳整備に着手、近隣住民の支援仕組み作りの検討を開始した。

(問) 都市計画道路古城線（市役所・三菱電機前）の踏切との立体交差の平面見直しをどう考えるか？

<答>市街地内の道路網形成に欠かせない路線で、立体化のメリットは大きく計画廃止は考えていない。

(問) ゴミ処理の有料化の混乱と今後の方針は？

<答>行革の20年より取組むと市方針を提示したのみ。

17年度の収支が予想以上に悪く、再度検討する。

(問) 市の財政危機に対する認識と対策を伺いたい。

<答>経常収支比率 95.8%で、歳入の使途がほとんど決まっているという、財政に余裕のない状態で、大変厳しい状況だと認識している。人口増加の低迷・課税所得の減少・地価下落など歳入の減少と、人権費や施設の維持管理経費・医療費／介護給付への繰出金など歳出の増加が主原因であり、さらに、交付税や税源配分など地方税財政制度、公共事業などの経済政策、不況などの社会経済環境などさまざまな要因が関与している。今後さらに分権改革推進により、ますます厳しくなると予想される。対策として、キッピーモールの運用を指摘されるが、実績は昨年度の2.5倍と利用拡大されつつあり、キッピー全体の利用促進の効果を期待される所であり、地域振興株式会社の民間主導への移行と併せて、サービスを維持しつつ、効率性向上を図っていく。

■ 8～10月の活動

◎ 委員会

8/18・9/12：経済建設常任委員会

（大雨災害・農業政策、鳥獣害対策、滞納者告発）

8/11・9/26：健康福祉審議会（障害者福祉基本計画）

8/22・9/11・10/11：新庁舎・文化センター特別委員会（新庁舎当面凍結、文化センターの運用）

◎ 行事出席

9/16・17・24・30：小・中・市民・幼運動会参加

9/17：三田地区敬老会出席

9/30-10/1：天神祭り参加

10/6-10：のじぎく兵庫国体三田市行事参加

10/28：人と自然の共生センター竣工式出席

初めてのビアパーティ。
今までお世話になった方に
大勢ご参加いただきました。
本当にありがとうございます。



8/4

三菱労連や関連労組の大会で
ご挨拶させて頂いています。
活動や三田市の将来を
しっかりと語っていきます。



8/26

市民運動会に
国体の炬火リレーが入り
地区代表も参加しました。



9/24

地域の中小幼の運動会に参加！
お子様の成長をともに見守り、
子育てを一緒に考えます。



9/30



10/1

あいにくの雨の中、宮入となった天神祭り
地域の方々と一緒に地車を引きました。

調査報告

今回は、民主党や連合がマニフェストに掲げている「格差是正」について、検証しました。

小泉政権で「勝ち組・負け組の二極化が明確となり、格差が一層拡大した」とよく言われます。その格差を無くして行こうというのが、「格差是正」です。

格差（価格・資格・等級などの差のこと）と一言で言っても、地域・所得・消費・貯蓄・生活・年代・雇用・男女・教育・一票など思いっくだけでもたくさんあります。

右のグラフを見てください。生活者・勤労者の経済的格差として、小泉政権の5年超で<所得格差><生活格差><貯蓄格差>がどう変わったのか、前後比較をしています。（民主党発行プレス民主より）低所得や生活保護・貯蓄ゼロ世帯が大きく増え、全体として生活苦が見て取れます。

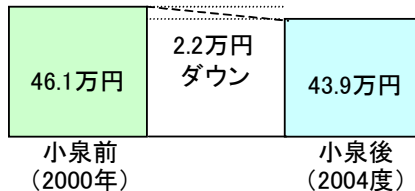
経済格差拡大の理由として、①経済の不況、②単身高齢者の貧困、③母子家庭の増加、④若年者の二極化に伴う低所得若年者の増加、⑤非正規労働者の激増、⑥最低賃金水準の停滞、などが上げられます。特に、非正規雇用は全体の3人に1人まで拡大し、生活基盤の構築が厳しいのが現状です。（下の「グラフ：正規雇用者と非正規雇用者の推移」を参照下さい）若年者の二極化はその影響が出たものといえます。

かつて高学歴は「個人の努力」の結果と見られていましたが、今では親から相続する影響が大きくなっているようです。小泉前首相は「人生いろいろ」「負け組も頑張れば勝ち組になれる」それが「社会の活性化」と主張していましたが、現状は所得格差・資産格差が「機会の平等」までも奪う領域に達している状況であり、日銀総裁すら自己資産拡大を図る時代に、負け組から勝ち組への移行は並大抵ではありません。更に、サラリーマン増税（定率減税廃止）や年金・医療費など、負担増の政策です。税制や社会保障政策における所得再分配システムのあり方を検討していくとともに、教育に関しては奨学金制度の拡充を含む教育行政改革、若年者対策や非正規雇用対策を中心とした雇用政策の充実など、制度改革・予算獲得に向け尽力すべきとき、と考えています。

一攫千金を狙う投資や投機、さらには犯罪に走るような社会にならぬよう、もう一度ものづくりの大切さを見直し、地域として支えあう社会の構築こそ、本当の安心のまちづくりと考えます。

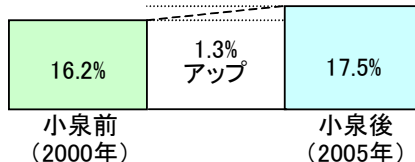
< 所得格差 >

平均給与



一部の勝ち組が平均を引き上げていますので、実態はもっと厳しいと考えられます。

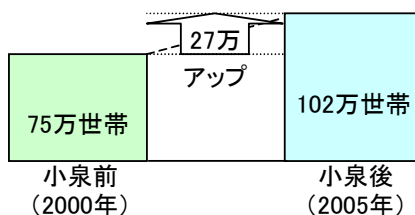
年間所得200万円未満世帯



少子高齢化による独居高齢者の増加など、ますます格差が拡大しています。

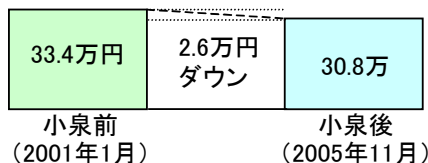
< 生活格差 >

生活保護世帯数



兵庫県でも生活保護が8万世帯と増え、ますます格差が拡大しています。三田市は230世帯です。

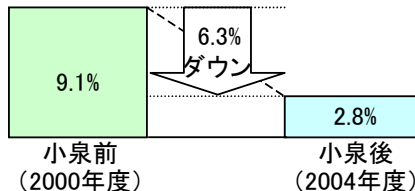
消費支出



地域格差があり、東京では消費支出増となっっています。地域都市が大きなダウンです。

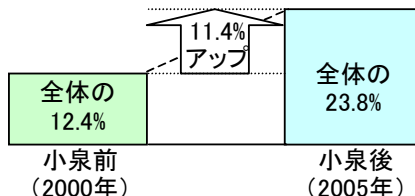
< 貯蓄格差 >

家計貯蓄率



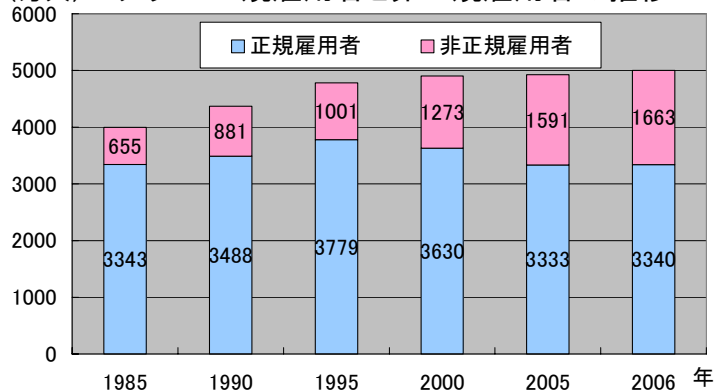
可処分所得（税金や年金など引かれた後の所得）が減り、収入のほとんどが消費となり、貯蓄のゆとりがなくなりました。

貯蓄ゼロ世帯



全く貯蓄に回せない世帯です。ローンの返済計画が狂った家庭や貯蓄を切り崩している家庭も増えています。

（万人） グラフ：正規雇用者と非正規雇用者の推移



市民相談・説明

皆様のご要望の強かった新三田駅ー有馬富士と 176 号線の交差点が、平成 19 年 3 月を目途に改修されます。用地買収が難航し、植木の部分を切り崩しての工事となりました。有馬富士に向かって進行時、交差点前 30m の区間に右折車線帯ができ、3 車線となります。信号も見直されるということで、渋滞緩和と信号の変わり目の事故軽減が図れます。

(→ に進行する場合の右折車線設置)



三田にはカーブから大きな交差点に入る道・少しずれた交差点・突然に細くなる道・T字路ばかりの路地などが多く見受けられます。しかし、交差点に高速や内回りで進入したり、信号の変わり目に突っ込んだり、無理な運転が目立ちます。また、学生の交通マナーにも問題が多く、特に自転車にドキッとされた方も多と思います。

夏休みには自転車の小学生が亡くなりました。先日私の目の前で自転車の中学生が交差点の横断歩道ではねられました。事故に会われた方より、メッセージを頂いたこともあります。本当に起きてからでは遅いのです。

皆様から頂いたヒヤリ・ハット事例やご指摘に対し、現地を見て、撮った写真と地図を見ながら関係部局と話をしています。一つひとつ、行政に問題指摘するとともに、県会や県警との連携を図りながら、また予算も見ながら、訴え続けていくことで、改善を図っていきます。

これからも、皆様のお気づきやご提案をご連絡下さい。

行事・事業のご案内

7/28(金) 三菱電機三田製作所サマーフェスティバルに協賛し、野菜市・くじ引き・ポップコーン販売を行い、多くのお客様に来ていただきました。

8/4(金) 後援会主催ビアパーティ
初めての行事でしたが、約 60 人のご参加を頂き、盛会裏に開催できました。
本当にありがとうございました。

<これからの後援会の行事・事業>

10/22(日): ミニ集会(ウッディ地区)

・・・15:30~16:30 ウッディ市民センター

10/29(日): ミニ集会(フラワー地区)

・・・19:00~20:00 フラワー市民センター

本当にひざをつき合わせての語る会です。
多くのご参加をお待ちしております。

11/29(水): ボウリング大会

・・・18:30~20:00 スーパーボウル

楽しいひと時で、ストレスを吹き飛ばしましょう。

なお、びとう和広が常任理事である三田市バレーボール協会の 30 周年記念行事として、

11/5(日) 10:00~12:00 三田学園小寺ホールにて
日本代表: 南克幸氏の講演会が開催されます。

参加無料ですので、ぜひご参加下さい。

はば
タンと記念
撮影 (10/6)



びとう和広後援会より

後援会会員の皆様方には、日頃より力強いご支援・ご協力を賜り、誠に有難うございます。心より厚く御礼申し上げます。

『びとう和広』は、議員になって2年となり、任期4年の半が過ぎました。今年度は皆様との直接対話を積極的に進めております。まだまだ未熟ではありますが、皆様に育てて頂ければと考えております。

後援会としても、びとう和広の活動を知っていただくとともに、皆様の声をびとう和広にいただけるよう、行事や活動を通し、支援を続けて参ります。

『びとう和広』は、皆様の声をお聞きし、何事にも一生懸命精進するとの決意で活動を進めて参ります。

今後とも、旧倍のご指導・ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます、ご挨拶いたします

びとう和広後援会 会長 : 長谷川 満敏

【びとう和広 後援会 連絡先】

<連絡先> 〒669-1513 三田市三輪2丁目3番33号

三菱電機労働組合三田支部気付

Tel: 079-563-1860 Fax: 079-563-5093

<自宅> 〒669-1537 三田市西山2丁目11番13号

Tel: 079-562-8653, Fax: 079-562-0730

<電子メール> bit@venus.dti.ne.jp

<ホームページ> <http://www.bitto-kazuhiro.com>